



CLIP STUDIO
PAINT

ボリュームライセンス導入手順書

CLIP STUDIO PAINT ボリュームライセンスをご契約いただき、ありがとうございます。

本書は企業・教育機関でソフトウェアの管理を行うライセンス管理者さま向けの資料となります。CLIP STUDIO PAINT ボリュームライセンスの利用開始から運用中の操作について記載しています。

ご契約時にお知らせいただきましたライセンス管理者さまのCLIP STUDIOアカウントで以下のページよりログインしてください。

<https://vlc.clip-studio.com/ja-jp/volume-licenses/>

ご契約いただいた内容と相違ないことをご確認いただき、[ライセンス管理へ]ボタンから進んでください。

利用開始	ライセンス数
2022/02/03	利用中 33 空き 67 合計 100

利用者を招待する

1. 「利用者招待」よりCLIP STUDIO PAINT ボリュームライセンスを利用する方への招待メッセージやURLを設定します。

利用者向けのメッセージを設定します。利用者向けメッセージとは利用者が招待URLにアクセスして表示されるメッセージです。「利用者情報」に入力する管理しやすい情報の案内の設定をお願いいたします。

例: 学籍番号+氏名、社員番号+氏名、等

2. CLIP STUDIO PAINT利用開始URLを発行します。
利用者はこのURLにアクセスし、自分のCLIP STUDIOアカウントでログインし、利用者登録を行います。
すべての利用者の利用登録が完了したら、URLの漏洩防止のため、[無効化]ボタンでこれ以上登録者を増やすことを防止することができます。
また、[新しいURLの発行]ボタンで今までの利用開始URLを無効にし、新たに発行したURLでなければ利用登録できないようにすることもできます。すでに利用登録済みの利用者の方はそのままご利用いただけます。

[コピー]ボタンを押して利用開始URLをコピーしたら利用者に向けてメールなどで連絡してください。

一度発行した利用開始URLは、[新しいURLの発行]ボタン、[無効化]ボタンで変更を行わない限り同じ内容でご連絡いただいても構いません。

②管理者名の設定

管理者登録後にも編集することができます

管理者名

URLを発行

- [管理者アクティビティ]では、ライセンス管理者が行った操作が一覧表示されます。

管理者の削除

- ライセンス管理者が2名以上いる場合、管理者の削除を行うことができます。異動や退職などの際に実行をお願いいたします。
「ライセンス管理」ページのライセンス管理者より該当の管理者名を選択し、[管理者を削除]ボタンより実行をお願いいたします。

管理者詳細

管理者名	<input type="text"/>	編集
メールアドレス	<input type="text"/>	
登録日	2022/02/09	

管理者を削除

特定の環境における設定について

CLIP STUDIO PAINT ボリュームライセンスをWindows / macOS環境でご利用の際に、利用後に初期設定にもどるソフトウェア(瞬快やDeep Freezeなど)をインストールしている環境、または1台の端末を複数の方が利用する環境でご利用の場合は、以下の手順を行っていただくことで起動のたびに行われる素材データの展開を回避できます。

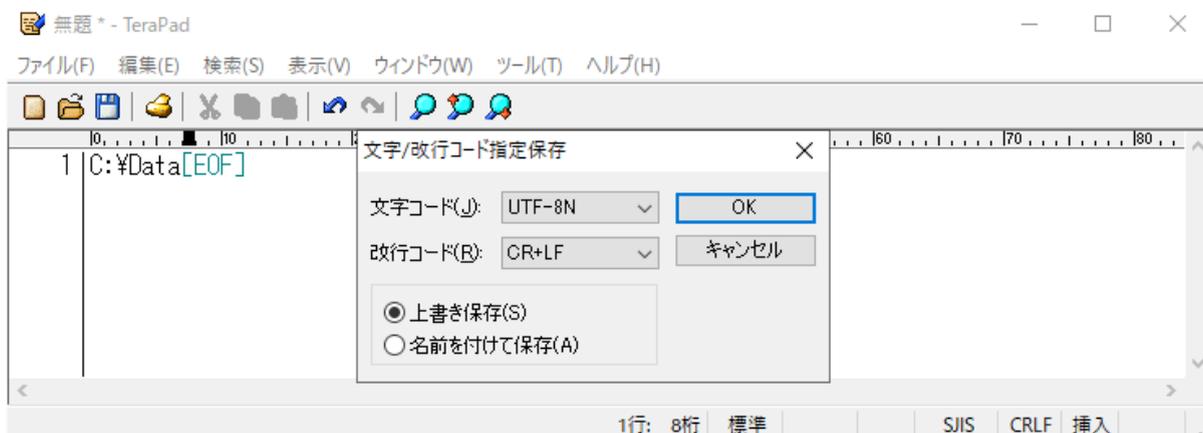
1. 素材データ保存パスの変更
通常では、素材データはCLIP STUDIO、もしくはCLIP STUDIO PAINTの初回起動時に各ユーザーフォルダに展開されます。
Windows: ドキュメント\CELSYS\CLIPStudioCommon
macOS: 書類/CELSYS/CLIPStudioCommon
CLIP STUDIO PAINTをインストールするシステム管理者ユーザーと別アカウントで利用する場合、起動のたびに素材データが展開されますので、これを回避する設定を行います。
2. 素材データ保存パスを指定するファイルの作成
ファイル名「CommonFolder.txt」のUTF-8 BOMなしのテキストファイルを作成し、素材データを保存するパスを記載します。(※改行コードはいれないでください)

パスはすべてのユーザーからアクセスできる場所を指定してください。
以下はパスの一例です。

Windows: C:\Data

macOS: /var/data

- ❖ フォルダがない場合は新規作成してください。指定したパスはすべてのユーザーからアクセスできる権限を付与してください。

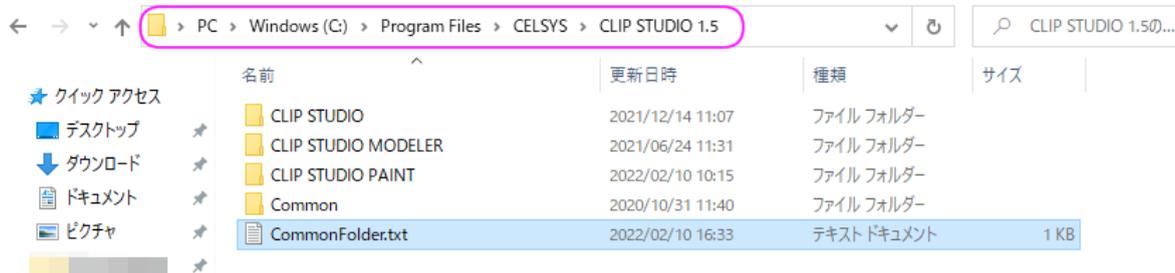


3. 素材データ保存パス指定ファイル「CommonFolder.txt」の設置

CLIP STUDIO PAINTをインストールしたフォルダに下記のように設置します。

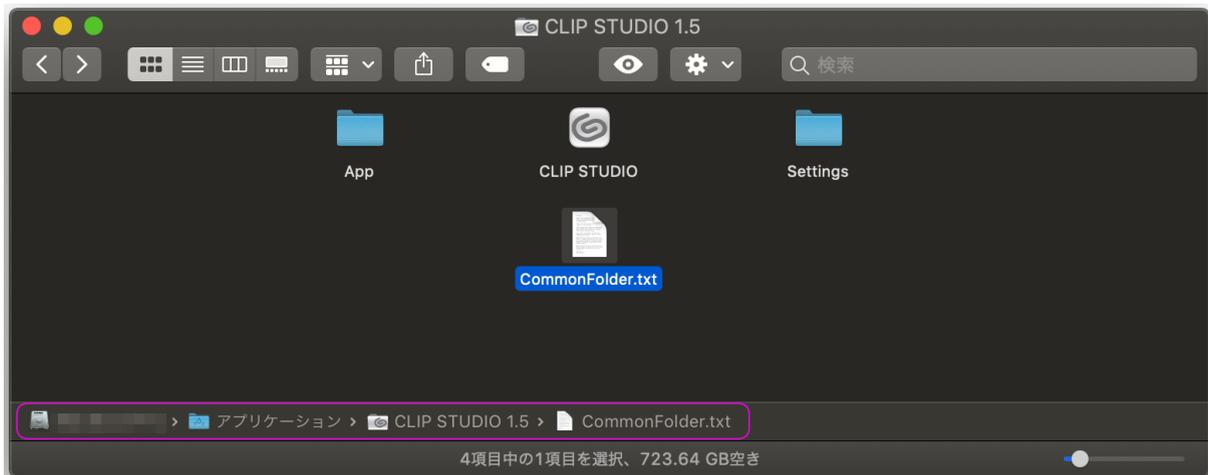
作成した「CommonFolder.txt」は以下の場所に保存してください。

Windows: C:\Program Files\CELSYS\CLIP STUDIO 1.5\CommonFolder.txt



- ❖ Windowsのパスは、インストール先を変更しなかった場合です。インストール先を変更している場合は、変更先に即したパスとなるようご確認ください。

macOS: /Applications/CLIP STUDIO 1.5/CommonFolder.txt



- ❖ CommonFolder.txtはすべてのユーザーからアクセスできる権限を付与してください。

4. CLIP STUDIOの起動

素材データの保存場所の変更が終わったら、CLIP STUDIOを起動して素材を展開します。指定した素材データ保存パスに「CLIPStudioCommon」フォルダが作成されていることを確認してください。作成されていない場合は「素材データ保存パスの変更」に従い再設定してください。

- ❖ 作成された「CLIPStudioCommon」フォルダとその中に含まれるフォルダ、ファイルに、すべてのユーザーからアクセスできる権限を付与してください。
- 利用後に初期設定にもどるソフトウェア(瞬快やDeep Freezeなど)をインストールしている環境の場合は、上記1~4の操作を行った上で復元ポイントを設定してください。インストールした管理者ユーザー以外のアカウントでログインし、CLIP STUDIO PAINTが起動できること、起動時に素材が展開されないことを確認してください。

確認が済みましたらCLIP STUDIO PAINTの導入は完了です。

以上